

# 宇都宮徹壺・千田善 サッカー・トークセッション

総合司会・進行：市之瀬敦

**なぜ日本代表は  
『ハ rilル・ジャパン』  
と呼ばれるのか？**  
ハ rilルホジッチと日欧フットボールの間に

宇都宮徹壺



いよいよ2018年サッカー・ワールドカップ・ロシア大会に向け、  
日本代表の新たな戦いが始まる。

3月には新監督を迎え、ますます期待が高まる。

「ハ rilル・ジャパン」

我々がサポートするチームはそう呼ばれる。

だが、なにか引っかかるものはないだろうか？

代表チームとは、「まずは監督ありき」なのだろうか？

そもそも「ハ rilルホジッチ」ではないのか？

日本だけでなく、欧州のサッカーも熟知する2人の論客が、

代表チームの呼称に抱く違和感をきっかけに、

日欧のサッカー文化を語り尽くすトークセッションへ、ようこそ！

市之瀬敦



2015.6.5(金)

18:00~20:00

上智大学四谷キャンパス中央図書館9階L921会議室

言語：日本語

申し込み不要／参加費無料

宇都宮徹壺：写真家・ノンフィクションライター。  
TV製作会社勤務を経て、97年よりフリーランス。『フットボールの犬』  
(東邦出版)で第20回水野スポーツライター賞最優秀賞受賞。2002年、  
06年、10年に続き、14年のW杯ブラジル大会を現地取材。

市之瀬敦：上智大学外国語学部ポルトガル語学科教授、ヨーロッパ研  
究所所長。「ダイヤモンド・サッカー」の洗礼を受けた後、留学先で出  
会った、美しいけれど、どこか悲しいポルトガル・サッカーの虜となる。  
2001年『ポルトガル・サッカー物語』(社会評論社)、06年『砂糖をまぶ  
したパス-ポルトガル語のフットボール』(白水社)を上梓。

千田善(ちだ ぜん)：国際ジャーナリスト。岩手県出身。  
ペオグラード大学で国際政治を学ぶ。ユーゴスラビア各地で紛  
争取材。帰国後は一橋大学などの講師(国際政治、異文化交流  
論など)、2006年からサッカー日本代表オシム監督の通訳をつと  
める。現在、立教大学講師(スポーツジャーナリズム)。

千田善

